

Rotary International 2025-2026 会長 フランчесコ・アレツツォ	丸亀東ロータリークラブ
国際ロータリー第2670地区 ガバナー 織田 英正（高知南RC） 「地域密着のロータリーを目指そう」	
会長 塩野 拓二 幹事 黒木 五朗	

2026年1月20日(火)**2025-2026年度 第51年度 第27回 通算第2404回例会****【会長報告】**

◆ なし

【幹事報告】

◆ 前回。例会終了後 1月理事会を行いました。

- ① 1月・2月・3月のプログラムの件・・・承認 ◎予定表配布
- ② 2028-2029年度ガバナー候補者推薦の件・・・推薦なし
- ③ 4月7日(火)台北東南RCが来日の件・・・詳細が決まり次第連絡

～役員委員長半期報告がまだの方が報告～



高橋 社会奉仕



宮武 親睦活動



久保田 青少年



片岡 R情報



岡 米山奨学会

【プログラム】 会員卓話（篠井 和成 新会員）

皆さま。本日は新入会員卓話ということで貴重なお時間をいただきまして、誠にありがとうございます。

千代田工業 代表取締役の篠井和成と申します。

ロータリークラブの皆さまとこの場で直接お話しできる機会をいただき、大変光栄に存じます。

本日は当社の1. 歩み（沿革）と経営理念、そして私たちが最も大切にしている「ものづくり」と「人財」についてお話しします。

途中で、2. 造船・海運のスケールを実感いただける映像を一つご覧いただき、3. 当社の取り組みを説明したいと思います。

どうぞ、最後までお付き合いください。



1. 会社沿革と経営理念

当社の始まりは1972年 篠井量次が従業員7名で創業したことにあります。

翌1973年 千代田工業有限会社を設立し、以後 今治造船の一次協力会社として船づくりに従事してまいりました。1977年には日進工業を設立し、2005年以降は新笠戸ドッグや西多度津など多くの現場で業務請負を行ってきました。2009年には株式会社千代田工業を設立し、2012年より私が代表取締役を務めております。2023年には創立50周年を迎えました。

当社の経営理念は「従業員の物心両面の幸福を追求し、社会の進歩発展に貢献すること」です。社是は「一樹百獲」。一人を育てることが社会全体の利益につながるという信念を掲げ、常緑樹の如く人を育て続けることを重視しています。

2. 動画視聴

ここで世界最大級の約二万四千個積みのコンテナ船の映像をご覧ください。

あの規模感造船産業の重要性和私たちの関わりを直感的に伝えてくれると思います。

どうぞご覧ください。

(動画再生)



3. 動画からの学びと当社の取り組み

ご視聴ありがとうございました。映像にあったような巨大船舶の建造や運航は多くの高い技術と厳密な管理を必要とします。千代田工業は長年にわたり、親会社である今治造船とともに、その一端を担ってきました。

私たちは「ものづくり」の本質は道具ではなく、人の技術と情熱にあると考えます。だからこそ単なる「人材」ではなく、心の通った企業の財産としての「人財」を育てることを重視しています。

取り組みとしては、若手のOJT(On the Job Training)：職場内で、実務を通して行う訓練による技能継承、安全教育の徹底、現場からの改善提案の運用があります。これにより品質と納期を守り 長年にわたる信頼関係を築いてきました。

今後はさらに若い力と豊かな発想を取り入れ、技能継承を加速するとともに、安全・品質の向上と業務効率化に注力してまいります。地域企業や教育機関との連携を強め、次世代の技術者育成に貢献したいと考えています。

4. 結び・感謝

最後になりますが、これまで支えて下さった取引先の皆さま、地域の皆さま、そして日々 頑張る社員一同に深く感謝申し上げます。

今後も千代田工業は「人財」と「技術」を礎に、社会に貢献してまいります。
本日はご清聴 ありがとうございました。

【本日のニコニコ】

☎ 本日 会員卓話を無事終えて		: 篠井 和成 様
☎ 篠井和成さんの会員卓話を拝聴して		: 塩野 拓二 会長
☎ 篠井和成さんの会員卓話を拝聴して		: 黒木 五朗 幹事
☎ 篠井和成さんの会員卓話を拝聴して		: 田中 誠 S A A
☎ 篠井和成さんの会員卓話を拝聴して		: 岡 千枝 様
☎ 役員委員長半期報告を無事終えて	(理事)社会奉仕	: 高橋 将三 様
☎ "	(理事)親睦活動	: 宮武 譲 様
☎ "	ロータリー情報	: 片岡 浩昌 様
☎ "	青少年奉仕	: 久保田剛司 様
☎ "	米山奨学会	: 岡 千枝 様

【来訪ロータリアン】 (なし)

【メイクアップ】 (なし)

【出席報告】 第2404回例会

<1月20日(火)例会分>

会員総数	出席免除会員数	出席計算会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率
44名	1名	43名	30名	13名	69.77%

第2402回例会

<1月9日(金)丸亀RCとの合同新年例会分>

会員総数	出席免除会員数	出席計算会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率
44名	1名	43名	29名	14名	67.44%

【1月27日(火)の例会】 創立50周年記念事業 検証会 (クラブ広報委員会)

【2月 3日(火)の例会】 客 話 〔米山奨学生・秦 影 様〕 高松大学

【2026-27年度 R I 会長メッセージ】

2026年1月12日、ロータリー国際協議会で講演し
2026-27年度会長メッセージ

「持続可能なインパクトを生み出そう」を発表
したオンラインカ・ハキーム・ババロラ氏 2026-27
年度国際ロータリー会長。

「ロータリー会員である私たちはより良い未来と
いうビジョンを共有しています。そのビジョンを
現実にするには、自身の内なる変化を意識し、解き
放たなければなりません」



ナイジェリア

(トランス・アマディ RC 所属)

年次会長メッセージは、説得力のあるロータリーのストーリーを一貫した方法で伝えるための強力な手段です。ロータリーの行動計画に沿ったメッセージを使うことで、ロータリーと共に行動を起こすことへのインスピレーションを人びとに与えることができます。

2026-27年度のメッセージ「持続可能なインパクトを生み出そう」は、行動人としてロータリー会員が協力し、地元や海外の地域社会で有意義な変化をもたらしていくことを奨励しています。これは、2025-26年度のメッセージである「よいことのために手を取りあおう」を実現するために会員が互いに、また地域社会との結びつきを強めてきたことを土台としています。「持続可能なインパクトを生み出そう」は、こうしたつながりを活かし、会員、参加者、市民が、世界で、地域社会でそして自分自身の中で持続可能な変化をもたらすための協働を鼓舞するメッセージです。

ロータリーを通じて会員が持続的な変化を生み出していることを世界に伝えるため、奉仕活動や地域社会でのそのほかの取り組みを通じてクラブがもたらすインパクトを示す情報を集め、ストーリーを広めることができます。

「**個人的見解：ロータリーの価値**」シリーズの動画を共有するのも優れた方法となります。これらの短い動画は、ロータリーが世界で、そして会員の人生においていかに前向きな変化を生み出しているかを紹介しています。

四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～

- | | |
|------------|------------------|
| 1. 真実かどうか | 3. 好意と友情を深めるか |
| 2. みんなに公平か | 4. みんなのためになるかどうか |

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。
具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1. 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2. 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3. ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4. 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

MARUGAME EAST ROTARY CLUB

事務所 オークラホテル丸亀430号室

例会日 毎週火曜日 PM12:30～PM1:30

例会場 オークラホテル丸亀 ☎23-2222
〒763-0011 丸亀市富士見町3丁目3番50号
TEL(0877)21-6611 ; FAX(0877)21-6655
E-mail ; merc@soleil.ocn.ne.jp
<http://www.marugame-east-rc.com>